

千葉県山岳連盟 スポーツクライミング部
ユース選手強化要綱（2019年版）

2019. 4. 23
選手強化委員会

I 目標

- (1) 国民体育大会入賞
- (2) 未来のアスリートの発掘・育成・強化

II 強化・育成の方針

- (1) 世界大会を目指す選手達が切磋琢磨できる環境を作り、個々の選手の強化を図る。
- (2) 礼節を重んじ、千葉県を代表するに相応しい選手となるよう育成する。

III 千葉県競技力向上推進本部事業で定めるちばジュニア強化指定選手（以下「強化選手」）

- (1) 小学4年生から高校3年生であり、かつ保護者の協力が得られる者を対象とする。
- (2) 千葉県山岳連盟は、以下の条件①～⑤のいずれかを満たす者を強化選手に指定する。
その期間は当該年度及び翌年度とする。
 - ① 国体千葉県予選会の結果に基づく、少年男子・少年女子の上位各3名
 - ② JMSCA推薦選手として全国大会に出場した者
 - ③ 予選会を通過して、BJC、LJC、SJCまたはCJCに出場した者
 - ④ 千葉県山岳連盟が主催する下記大会で3位以内に入った者
(千葉カップボルダリング、千葉カップリード、県小中学生大会、県ユース選手権)
 - ⑤ 県岳連推薦選手として、下記大会に出場した者
(全国高校選抜、JOC、関東小中学生選抜、(BYC)、(LYC))
- (3) 強化選手は、強い向上心をもってトレーニングに打ち込まなければならない。
- (4) 強化選手は、保護者の責任の下、幕張総合高校クライミングウォールにおけるジュニア強化練習会（中央練習会）に参加できる。
- (5) 中央練習会および大会参加にあたっての注意点と大会遠征費補助に関する注意点は別に定める。

IV 育成選手

- (1) 小学1年生から中学3年生であり、かつ保護者の協力が得られる者を対象とする。
- (2) 以下の条件を満たす者から、選手強化委員会が総合的に判断し、次代の強化選手候補として育成選手に指定する。
 - ・他県の岳連主催大会や各ジム主催大会の成績上位者、または随時実施する小中学生セレクションの通過者で、指導者の推薦が得られる者
- (3) 育成選手は、強い向上心をもってトレーニングに打ち込まなければならない。
- (4) 育成選手は、保護者の責任の下、幕張総合高校クライミングウォールにおけるジュニア強化練習会（中央練習会）に参加できる。ただし、参加日数には制限を設ける。

V 指導者及びトレーナー

- (1) 強化選手及び育成選手の指導者（国体監督経験者、国体選手経験者、現役の国体成年選手、JSP O公認SCコーチ が望ましい）は、選手ひとりひとりの目標達成のための支援を行う。指導者は選手とともに中央練習会に参加することができる。選手は自身の指導者を選手強化委員会に報告する。
- (2) 千葉県山岳連盟が推薦するトレーナーは、強化選手及び育成選手に対して、フィジカルトレーニング、コンディショニング、メディカルケアの助言・支援を行う。